

すこやかネット・まつばら

教育コミュニティのエンパワメントをめざして

松原市内各中学校区地域教育協議会では、“フェスタ”、“クリーンキャンペーン”、“子育て講座”等を開催しています。

松原市地域教育協議会では、松原市PTA協議会との共催で“防犯教室”、“松原市中学校生徒会交流会”を開催しています。また、“職場体験学習”の支援にも取り組んでいます。

このような、様々な取り組みを通じて、地域の子もどうし、子どもと大人、大人どうしが交流し合い、「顔と名前の一致する人間関係」を育む教育コミュニティの推進と共に、学校教育活動への支援・協力を行っています。

5つのネットワーク

- ① 体験活動のネットワーク
- ② 職場体験学習のネットワーク
- ③ 大人と子どものネットワーク
- ④ ボランティア活動のネットワーク
- ⑤ 子ども同士のネットワーク



第10回松原市中学校生徒会交流会



学校支援地域本部事業

文部科学省・大阪府補助事業

～教育コミュニティづくりの拡大・発展～



松原市マスコットキャラクター
マッキー



大阪「こころの再生」府民運動

松原市地域教育協議会
松原市教育委員会

松原中学校区地域教育協議会

心のふれあい秋まつり

11月12日(土) 松原中学校グラウンドにおいて、地域フェスタ「心のふれあい秋まつり」が実施されました。本年度は天気にも恵まれ、ステージ、体験、展示、模擬店などの各コーナーは、たくさんの人で一日中賑わいました。松原中学校区のフェスタのテーマは『歴史と防災』です。そこに、今年度は新しく、松原市薬剤師会・藤井寺保健所からの『薬物被害』に関わる展示も参加していただき、子どもからお年寄りまで、た



くさんの人が各コーナーを訪れました。また、従来からの歴史展示による「地域を知ろう」というコーナーや放水の体験による「地域を守ろう」というコーナーも賑わいました。ステージにも昨年度に引き続き、MTBR33が出場し、校区の幼稚園児や保育園児、小学生、中学生、高校生や伝統芸能、ハワイアンとともに会場をわかせていました。中学生ボランティア80名程が会場でゴミ拾いや会場図の配布など一日中頑張ってくれ、地域の人々の笑顔であふれたフェスタでした。

中学校区三小学校交流会

毎年2月末頃に、中学校区の三小学校6年生を対象にした交流会を実施しています。本年度は1学期に授業体験、2学期にクラブ体験があり、児童たちにとっては3度目の顔合わせとなります。4月の入学前に少しでも顔見知りの児童が増えるようにと、地域教育協議会と三小学校の6年生の先生方が中心となって企画運営を行っているのが、この交流会です。会場は、松原中学校の体育館や教室を借りて、中学生ボランティアにも参加してもらっています。また、各学校のPTAの方々にもお手伝いをお願いし、大縄やドッジボールなどを楽しんだ後、炊き出しの豚汁を作ってくださいました。楽しい交流の中でつながりをつくり、中学校生活が楽しく踏み出せることを願っています。



学校図書館の電算化に向けた取り組み

本年度より校区の松原小学校と松原中学校の図書室の電算化に向けた作業が始まりました。両校では7月下旬より校区の学校支援コーディネーターが中心となり、保護者や生徒のボランティアも加わり、蔵書データの登録やバーコードの作成・印刷等の作業を行いました。松原小学校は作業が完了し、1月から新たに開館しています。松原中学校はまだ終了していませんが、来年度からの実施に向け、現在も取り組み中です。



松原第二中学校区地域教育協議会

いきいきふれあい祭り

前日までの雨の影響で雨天バージョンにはなりましたが、11月20日(日)に第16回いきいきふれあい祭りが開催されました。例年グラウンドに設置される舞台は体育館となりましたが、たくさんの地域の方にもおこしいたさき、大変な盛り上がりでした。また、今年は東日本大震災をうけて、二中の生徒会と天北小、天南小の児童会で、祭りの冒頭にボランティア宣言を行い、生徒会と地域協で募金活動も行い、募金していただいた方に鉛筆をお渡しする取り組みも行いました。



陶芸教室



地域協主催の文化的行事として、2年前から行ってる取り組みです。今年も、1回目を7月に2回目を9月に実施しました。特に2回目は台風の影響で延期されるなどハプニングもありましたが、たくさん子ども達が参加し、熱心にカップやお皿など作品造りに取り組んでいました。



校区フェスタ

5月には天美南小学校を会場に「天南祭り」を、また1月には天美北小学校を会場に「天北フェスタ」を行っています。「天南祭り」では、各団体が模擬店を出店しますが、「天北フェスタ」では、各団体が全て無料の体験コーナーを出しています。「天北フェスタ」には餅つきなどもあり、寒い中多くの子ども達や地域の方が参加され、楽しんでいただきました。



(天北フェスタ)



(天南祭り)

松原第三中学校区地域教育協議会

ヒューマンタウンフェスティバル



11月5日(土)、第16回の三中校区ヒューマンタウンフェスティバルを開催しました。今年度は途中からあいにくの雨模様となりましたが、徐々にグラウンドで開催することが出来ました。41の団体が参加し、ステージイベントでは「三中吹奏楽部」、「中央小・布小合同演奏」、「中央幼・布幼合同演技」、「三中・人権を大切にする会：夢太鼓」、「三中手話の会の発表」、「よさこいソーラン(中央小5年)」、「ダンスパフォーマンス(MTBR33と卒業生)」、「バンド演奏(卒業生)」と大変盛り上がった舞台となりました。



フェスタのステージで「ボランティア宣言」発表しました。

特に今年度は、3月11日の東日本大震災について、校区で様々な取り組みをおこなってきました。また、松原市内生徒会交流会がきっかけとなり、中央小学校児童会・布忍小学校児童会・松原三中生徒会が協力して、ヒューマンタウンフェスティバルで何か取り組みをしようということになりました。その子どもたちの思いを大切にするために、毎年決めているヒューマンタウンフェスティバルのテーマを、子どもたちが作成した「ボランティア宣言」からの言葉を使おうとフェスタ実行委員会で決定しました。テーマは「絆：助けられる人から助ける人へ」としました。当日は児童会・生徒会が協力して「ボランティア宣言」の朗読や「ボランティアステーション(ボランティアブース)」をつくって募金活動、写真展、メッセージボードの作成に取り組みました。たくさんの人に協力していただきました。本当にありがとうございました。

ボランティア宣言「絆：助けられる人から助ける人へ」

3月11日、初等部の卒業式では卒業式が停まりました。その数時間後、先般でも揺れがはじまり、テレビでは、壁や窓が壊れて倒れている様子が映されました。想像を大きく超えた地震や津波の、強く心を揺さぶられる瞬間をみて、そのときは何も出ませんでした。目を覆うことに、辛い事が続いた出来事が現実だと思え、私なりの心は焦しみのまじりになりました。しかし、すべての苦しみが一瞬となり、どこかにはいつかまたの日の人たちの家を知り、私自身も成長が感じられました。これからも、私たちが東日本での絆を大切に、生きることの意義を改めて、行動しようと思わなければいけないと、次のことを誓います。

1. 今のわたしを一生懸命に生きる。

病気になる人も事故に巻き込まれた人もありませんが、災害は自分のところには起こらないものと思っていました。しかし、震災によって多くの命が奪われました。誰しもを乗り越えて克服に生きていく人たちの姿をみて、あらためて、私自身は命の尊厳を知りました。まかされている命に感謝して、一生懸命に生きていくことを誓います。

2. 人のつながりを大切に。

震災のニュースで、助けの人が「自分はずいぶん、辛いことも多いけれど、助け合っている」という言葉を聞きました。私自身はその言葉を信じたいと思いましたが、助けがあったときにはお互いに助け合える仲間が近くにいることが、本当に大切なことだと感じました。人は一人で絶対生きていけないから、私自身はいつも周りの仲間とのつながりを大切にします。

3. 今ある当たり前のことに感謝の気持ちを忘れない。

震災後、私自身はその自分を見直さなければいけないと考えました。東日本の人たちが頑張っている姿を見たり聞いたりすることにより、私自身も自分自身を大切にしたいと思いました。「私自身は、震災と一緒に勉強したり、家族や地域の人と過ごすことに感謝する気持ちを忘れません。

4. 災害のことをもとと知る。

これから先も、大きな災害がくる可能性があります。だから、震災の被害のことをもとと知って、自分たちが被害にあつたときに乗りこえられるようにしたいと、考えました。そのために、東日本の小・中学校の様々な体験を学び、松原の小・中学校が「助けられる人」から、「助ける人」に成長できるようにがんばります。

私自身は東日本が一日も早く、元の状態に戻り、元々になることを祈っています。そして、東日本の小・中学校の気持ちを伝え、その気持ちを分かち合おうと、自分自身も一生懸命に生きていくこと、仲間とのつながりを大切にすること、あらためての生活を大切にすることも、東日本のこととつながり、私自身も「東日本が元気になるようにがんばりたい」と思っています。

がんばろう 東日本!! がんばろう 日本!!

松原市立布忍小学校児童会 松原市立中央小学校児童会 松原市立松原第三中学校生徒会



松原第四中学校区地域教育協議会

いきいき交流フェスタ

10月22日(土)四中校区いきいき交流フェスタを行いました。雨模様の天候だったので運動場は使わない雨バージョン、体育館で地域交流祭、模擬店は中庭で、体験教室は校舎内を使いました。松原市のマスコットキャラクター「マッキーくん」も特別参加でフェスタを盛り上げてくれました。幼稚園・保育所や小学校の児童がたくさん参加してくれ模擬店や体験教室には列ができる盛況でした。生徒会は東日本大震災募金活動をおこない、四中生もボランティアとして活躍し、自転車の整理、ゴミの回収などをスタッフと共に頑張りました。地域の方々の協力で今年もフェスタは大成功!!でした。



みなさんご協力ありがとうございました。

いきいき健康ウォーキング

12月11日(土)、いきいき健康ウォーキングがおこなわれました。「ふるさと再発見!!歩いてみよう自分たちの街を」をキャッチフレーズに今年で四回目をわかえました。家族や友だち同士でグループ毎に地図を片手に校区を歩いて



行きます。暖かい日差しがみんなをあたためてくれました。今年は阿保神社、屯倉神社を歩き三宅小では「焼きマッシュマロ作り」をして、時間が過ぎるのも忘れてウォーキングを楽しみました。ゴール後は温かい豚汁で暖をとってから全員でビンゴゲームを楽しみました。幼児、児童、生徒など幅広い年齢層で参加していただき、みんなで楽しいひとときがすごせました。

地域協活動 ~三宅幼稚園~

三宅幼稚園では、園目標の「様々な体験が豊富に得られるよう環境を整備し遊びをすすめる。人とのかかわりを大切にし、家庭生活や地域社会とつながる保育をすすめる。」にそって幼稚園・小学校・中学校・高校・大学・地域と様々な



な人との出会いの場面を作っています。職業体験では四中生と、四中フェスタでは地域の方々とふれあい、そのかわいい笑顔で行事をより楽しいものにしてきています。そのような体験とおして子どもたちが大きく成長しています。

松原第五中学校区地域教育協議会

いきいき環境フェスタ

フェスタのポスターです

11月20日(日)松原第五中学校で第16回いきいき環境フェスタが開催されました。今年度は、生徒会与児童会が東日本大震災の募金活動に取り組み、スタンプラリーの景品としてマイお箸(割り箸一膳で二酸化炭素18g²を削減)を約700セット配付し、環境問題を考え行動していくきっかけにもなりました。



幼稚園児によるダンス発表



地域の方による体験コーナー



小学生によるリコーダー演奏



中学生がテント設営のお手伝い

小中学生をあたたく見守る地域づくり

3校で学期初めに挨拶運動

学期初めと6月の「学校安全の日」に地域協として挨拶運動に取り組んでいます。地域協の役員やPTA・教職員等が協力して、朝から学校の門で「おはよう～」と大きな声で子ども達に挨拶をしています。



夏の体験教室

夏休み中の親子陶芸教室や天文教室(夏と冬)に地域協として取り組んでいます。



夏の天文教室(望遠鏡作り)



夏の陶芸教室

松原第六中学校区地域教育協議会

「校区の子どもたちの笑顔を大切に・・・」



「笑顔・夢・ふれあい祭り」

地域の岡町学園の園児の鼓笛隊の演奏、第1保育所の園児の太鼓ばやしとかわい子子どもたちのすばらしい演技で舞台の幕が開きました。今年は、東日本大震災の義援金を集めようということになり、六中学生徒会と両小学校児童会が舞台上がって協働でアピール文を読み、義援金の協力を呼びかけました。その結果、3万数千円の義援金が集まりました。グラウンドでは、「食のコーナー」「体験コーナー」など、たくさんのお店も12:00には完売するほど、地域の方や子どもたちが来てくれました。

「松風杯ドッチボール大会」

10月29日の「松風杯ドッチボール大会」では、松東小・松南小の子どもたちが、混合チームを作り、ドッチボールをしました。すばらしい秋空のもと、みんなが力強くボールを投げ合いました。審判の方々も力が入り、高学年では白熱したゲームになりました。



「みんな花いっぱいプロジェクト」

松原東小の子どもたちが中心になって、校区に花いっぱい運動をしています。公園、公民館、米作りをしている実習田などに、学校支援コーディネーターの二位さんやPTAの方々の協力のもと「校区に花を咲かせる運動」を展開しています。

「小中スポーツ交流会」

2月4日地域協主催で、六中入学前の両小学校6年生を対象にスポーツ交流会が開かれました。六中の生徒会の呼びかけでボランティアの中学生も交え、ドッチボール、バスケットボール、T-ボールの3種目で、冬晴れの寒い中でしたが、楽しく交流しました。青少年指導員の皆さんが終了後、「うどん」を振る舞っていただきました。





松原第七中学校区地域教育協議会

国際文化フェスタ ～夢・地域・共に生きる～



11月12日(土)第17回国際文化フェスタを開催しました。今年は、東日本大震災の義援金を送るため、生徒会が中心になり、鉛筆を配り義援金を呼びかけ、参加団体からも義援金の申し出がありました。

また、大きな布にマジックで、応援メッセージ「頑張ろう東北」をみんなに書いていただきました。

食のコーナー・あそびのコーナー・文化交流の部で、多くの方に来ていただきました。



(文化交流の部)



(義援金呼びかけ)

地域協子育て講座で、感謝状を送りました。



12月4日に、地域協主催の子育て講座を実施しました。一部のテーマは「ともに学ぶ」～地域の中で子どもと育つ「ほっとたいむ」親学習～でした。二部は、七中吹奏楽部のミニコンサートでした。

講座に先立ち、国際文化フェスタにおいて、長年参加され、子ども達のために貢献していただいた団体に感謝状を送りました。(荘園卓球様・荘友会様・西野々連合町会様、シルバーアドバイザー松原会様・松原防犯協議会恵我支部様・松原市消防団第四分団様・松原徳州会病院様)

本当にありがとうございました。



校区クリーン活動(7月・9月・3月)

年3回のクリーン活動を行っています。3月は、卒業式、入学式に向け、通学路や校舎周りの清掃を行います。



※このリーフレットは13,500枚作成しました。